



物流ニッポン

2008年(平成20年)

9 | 18 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3165号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

大和ハウスの物流施設

北九州市 日通が賃借・稼働

【北原秀紀】北九州市 同センターはひびきC
港湾空港局は十二日、ひびきコンテナターミナル
型物流施設で、日本通運
(CT)の背後地に大和
ハウス工業が建設を進め
ていた大型物流施設「ひ
びき国際物流センター」
が完成し、近く稼働する、
と発表した。

同センターはひびきC
T背後地では初めての大型
型物流施設で、日本通運
が賃借。ひびきCTを活
用した国際、国内物流の
拠点となる。日通は化学
製品、自動車関連部品な
ど大口、小口の混載貨物
を取り扱う。

敷地面積は三万九千六
百平方メートル、鉄骨造り一階
建てで、延べ床面積二万
三千九百平方メートル。投資額
は三十億円。
北九州市では「施設の
稼働に伴い、保管や仕分
けの必要な貨物の取り込
みなどが可能になり、背
後圏からの貨物の集積も
見込まれ、ひびきCTの
取り扱い増加が期待され
る」としている。